



地域安全対策ニュース

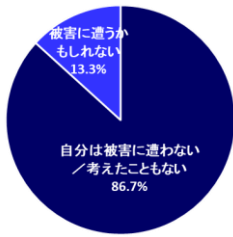
愛知県警察本部
生活安全総務課

『特殊詐欺被害者へのアンケート調査』(令和3年中)

令和3年中の特殊詐欺被害者を対象としたアンケート結果(回答者628名)を取りまとめました。



1. 被害に遭う前の意識 (回答者 628 人)

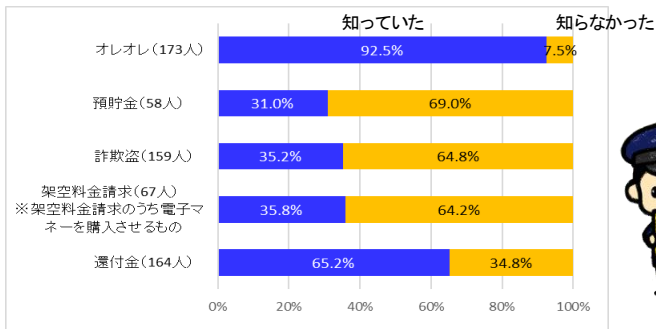


被害者の 86.7%が被害に遭う前は「自分は被害に遭わない」「考えたこともない」と回答。

特殊詐欺は平穏な生活に忍び寄るごく身近な犯罪です。他人事と思わないことが大切！



2. 自分が実際に被害に遭った手口を知っていたか (回答者 621 人)

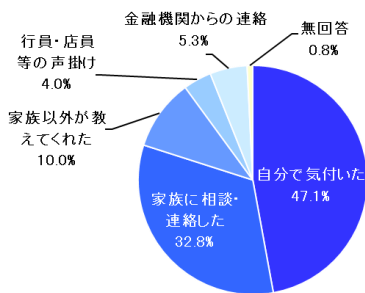


オレオレ詐欺被害者の 92.5%、還付金詐欺被害者の 65.2%が犯行手口を知りながら被害。



犯人は巧妙に被害者を騙します。知っているても油断しない！

3. 被害後に被害に気付いた理由 (回答者 628 人)

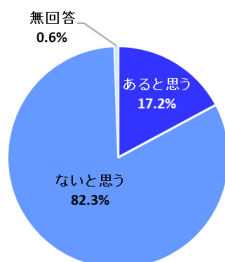


79.9%の被害者が被害後に不審に思って被害に気付いたと回答。

少しでも変だなと思ったら、一旦落ち着いてよく考えること、家族等に話すことが被害防止につながります。



4. 電話で暗証番号を聞かれることがあると思うか (回答者 70 歳以上・536 人)



17.2%の被害者が電話で暗証番号を聞かれることがあると回答。



電話で暗証番号を聞かれることは絶対にありません！

※アンケート対象者

令和3年の被害者(うち628人が回答)

内訳 性別 男29.9%、女70.1%

年齢 80代以上45.2%、70代40.1%、60代8.1%、50代以下6.5%